

福山リハビリテーション病院 広報誌

TAKE FREE

ご自由にお持ち
帰りください

よつばだより

VOL.

21

2023. 5. 10



 福山
リハビリテーション病院

院長就任あいさつ

2023年4月1日から福山リハビリテーション病院の病院長を拝命いたしました木村浩彰でございます。

年を取るといろいろな病気になりますが、日本は世界で最も高齢化が進行しており、病気の診断と治療だけでなく、病気や障害を抱えて生活しなければなりません。リハビリテーションは、単なる訓練ではなく、治らない病気を抱えてどのように生活するかを実現していく個別性の高い医療です。

75歳になると後期高齢者として医療も介護も国が担保するのですが、団塊の世代が75歳となる2025年問題もあと少しです。また、高齢化とともに総人口や労働人口の減少、社会資本の消失も問題です。社会が大きく変化していく中、支える人と受ける人の信頼に応えるため、最先端の技術や知識を習得し、医療福祉の発展に貢献していきたいと思っております。

これからも引き続きご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

福山リハビリテーション病院 院長
木村 浩彰 (きむら ひろあき)



TOPIC 01

10周年を迎えます。

「福山リハビリテーション病院」が誕生して本年5月で10年の節目を迎えることになりました。これもひとえに地域の皆さま、並びに関係病院各位、職員を含め病院運営に携わっていただいた全ての方々のご尽力の賜物と深く感謝いたします。地域の皆さまに安心してご利用いただけるよう今後も病院運営に努めて参ります。引き続きご支援の程よろしくお願い申し上げます。



TOPIC 02

入職式を行いました。

4月入職者を対象に入職式を行いました。今年度は医師1名、看護師8名、社会福祉士2名、理学療法士14名、作業療法士11名、言語聴覚士1名、事務職員1名が新たに入職しました。入職式では緊張と期待の入り混じった様子を感じられました。新しいスタッフとともに、よりよい医療を提供できるよう、取り組んでまいります。



FUKUREHAごはん

Monday
5/1

～福りは～

10周年記念ランチ

5/1に「10周年記念プレート」を提供しました。お祝いの席でよく提供されるお赤飯。日本では古くから赤い色には邪気を払う力があると考えられており、神様に赤米を炊いて供える風習があったといわれています。そこから災いを避ける魔よけの意味でお祝いの席で振舞われるようになったそうです。お赤飯と天ぷらの組み合わせは患者さまからもご好評いただきました。デザートは葛まんじゅうも初夏らしく爽やかですね。



◎献立
赤飯 天ぷら 煮合わせ
青菜の錦糸のせ 葛まんじゅう



リハビリハウス

Vol.2

リハビリハウス [玄関]



玄関は一般的に、土間部分、上がり框、床で構成されています。患者さまの中には、「靴箱を支えとして出入りしている」という方も多くいらっしゃいます。上がり框の高さによっては、昇降が安全にできるのが課題のひとつになることがあるため、実際の環境に近いリハビリハウスを利用し、段差昇降訓練を行うこともあります。また、玄関前の段差や、玄関フロアマットをあえて設置し、環境に合わせて動くことができるように工夫をしています。リハビリハウスがある当院ならではの訓練です。今回は、リビングルームの紹介です！



follow me



福山リハビリテーション病院公式Instagram

今月の **おすすめインスタ**



マイナ受付をご利用ください。

マイナンバーカードを健康保険証として「マイナ受付」をご利用いただけます。受付の顔認証付きカードリーダーを使用してください。ご不明な点がございましたら、お気軽に受付スタッフにお声がけください。

福山 リハビリテーション病院

〒721-0961

広島県福山市明神町二丁目15番41号

☎ 084-916-5500

📠 084-916-5511



公式ウェブサイト



Instagram

